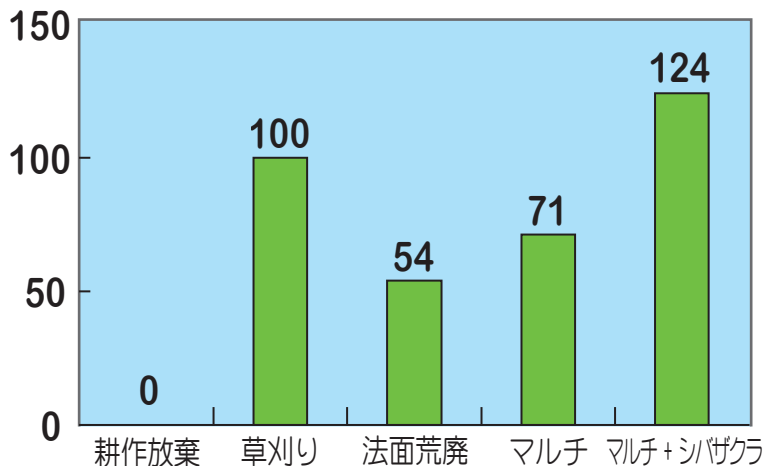


大規模畦畔管理方法によって創出される山間地域水田の保全価値

広島県民(600世帯)を調査対象として,各大規模畦畔管理方法が山間地域水田の保全価値に及ぼす影響を明らかにしました。

農村景観の保全価値の相対比較

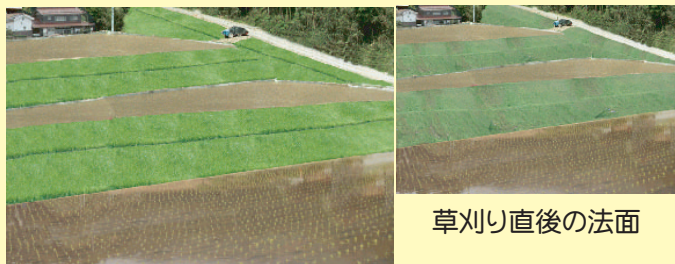


注1) 値は「耕作放棄」を0,「草刈り」を100とした指数
2) アンケートの有効回答率は47%

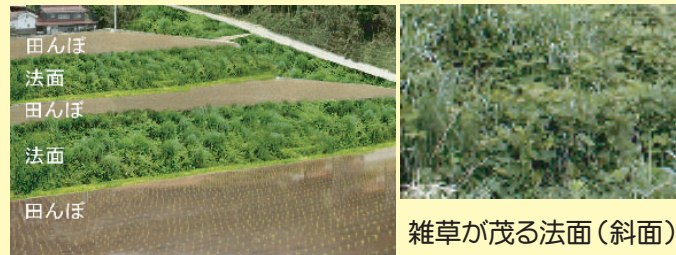
- 法面荒廃やマルチ被覆のみの場合,草刈り管理と比べて保全価値が低下します。
- マルチ被覆とシバザクラ植栽を組み合わせると,草刈り管理と同程度もしくはそれ以上の保全価値となります。

管理方法として設定した4つの方法

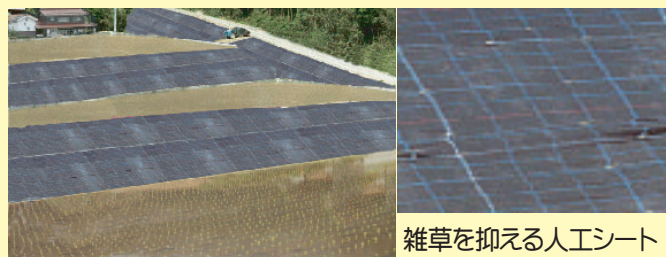
A 田んぼは耕作し,法面は草刈り管理する(現在の管理方法)



B 田んぼは耕作し,法面(斜面)は管理せず荒廃させてしまう



C 田んぼは耕作し,法面は雑草を抑える人工シートを張る



D 田んぼは耕作し,法面は人工シートを張ってシバザクラを植える

